

全東京写真連盟
撮影会写真コンクール
入賞作品集



審査対象 臨海副都心モデル撮影会

撮影日 2023年09月10日

審査日 2023年11月03日

審査員: HARUKI 先生



金賞
「色つきの女でいてくれよ」
星野 祐一 様
モデル Sakura

審査員：HARUKI先生 講評

フッとコチラを見つめている瞳の中にはどんな感情が流れているのでしょうか？
寂しいとか切ないとか憂いを秘めているようにも見えるのですが、もしかしたら真逆の
楽しいという感情を敢えて抑えているのかも,,,,,といういろいろな角度に捉えてしまえ
る不思議な瞳がこの写真のすべての強さです。モデルさんのもつ圧倒的な目力の存在感。
撮影時、壁にもたれてポーズをとっているのですがカメラを斜めに構えた構図が強さを
助長して成果を挙げたと言えます。



銀賞
「午後のまどろみ」
猿田 善和 様
モデル 蒼井 愛華

審査員：HARUKI先生 講評

素直に「可愛い～！！」って思ったのが第一印象です（笑） お会いした事はありませんがこのモデルさんの持つ自然体で明るい性格が前面に出ているんじゃないでしょうか。斜めのアングルで足先がチラッと見えているのも良かったです。上半身のポーズについてですがこのままでも充分良い作品になっていますが、ボクだったらという私見では髪の毛に置いている腕と共に頭を左右どちらかへ倒したら可愛さ倍増でもっともっと素敵になったかなと思いました☆



銅賞
「dream come true」
小倉 良二 様
モデル Sakura

審査員：HARUKI先生 講評

金賞受賞作と同じモデルさんです。前者はクローズアップの目力でコチラを見つめる視線が魅力的なモデルとカメラマンとの関係性が見える感情表現の作品でしたが、本作品は横顔と上半身でのポージングによるややクールでスタイリッシュな表現となっています。といっても感情が見えないのではなく動きを感じられる若干乱れたような髪の毛に秘めたる野生を感じました。左右の空白では人物の位置をもう少し左へ寄せて右腕の肘辺りまで画面に入れても良かったと思います。



入選
「柵にもたれて」
堤 博史 様
モデル 堀口 桜子



入選
「ハッピースマイル」
荒井 秀雄 様
モデル 蒼井 愛華



入選
「まぶしい刻」
小幡 大輔 様
モデル Sakura



入選
「見つめる」
山田 栄一 様
モデル 花瀬 凜



入選
「明日への想い」
内藤 勝之 様
モデル Sakura



佳作
「木陰のきらめき」
菅原 道久 様
モデル ゆいな



佳作
「looking forward to you」
門間 正之 様
モデル Sakura



佳作
「Smile」
寺島 弘行 様
モデル ゆいな



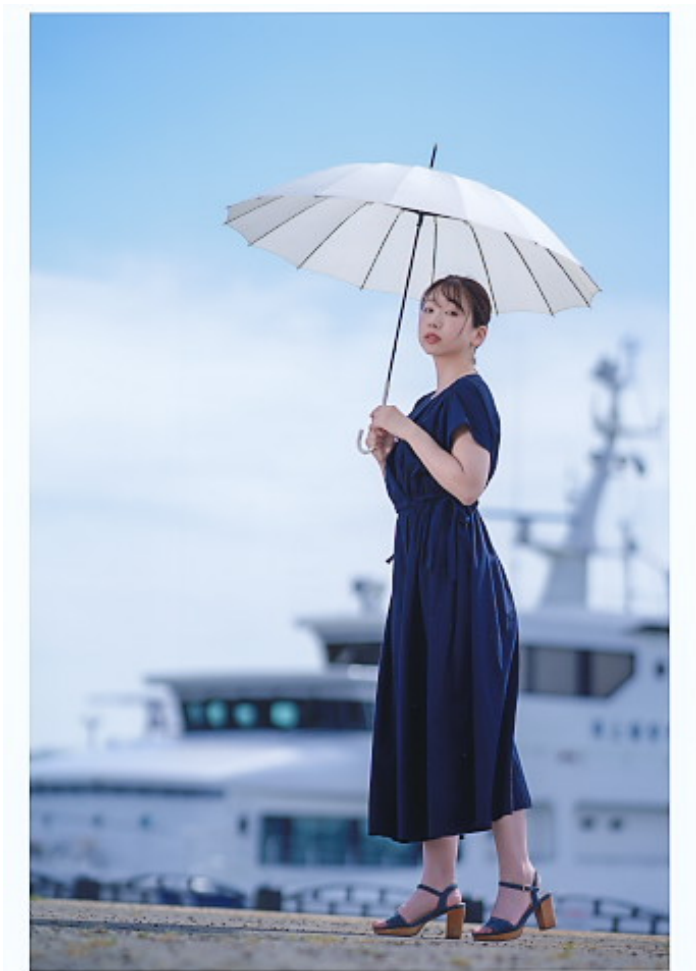
佳作
「黄昏」
鵜飼 典彦 様
モデル ゆいな



佳作
「夏のお嬢さん」
池田 道政 様
モデル 蒼井 愛華



佳作
「笑顔」
佐藤 和明 様
モデル 蒼井 愛華



佳作
「棧橋」
井原 亮祐 様
モデル ゆいな



佳作
「滲む光に」
逢坂 誠俊 様
モデル Sakura



佳作
「とびきりの笑顔」
岸野 孝博 様
モデル 蒼井 愛華



佳作
「海風」
三井 直人 様
モデル 堀口 桜子



次点
「あるオブジェ」
田中 直久 様
モデル Sakura



次点
「光る海を背に」
深野 武雄 様
モデル 蒼井 愛華



次点
「ブルースカイ」
小山 優 様
モデル ゆいな



次点
「風に舞うしぶき」
河村 徳助 様
モデル 堀口 桜子



次点
「日傘の中で」
滝本 憲一郎 様
モデル Sakura



次点
「風は秋の香り」
高橋 壯太 様
モデル Sakura



次点
「晴れた日の午後」
小野寺 基之 様
モデル ゆいな



次点
「木の下で」
金澤 義夫 様
モデル 彩乃 美希



次点
「Lonely」
佐久間 裕史 様
モデル ゆいな



次点
「赤いスカートの人」
山本 暁治 様
モデル Sakura

【 F 値の選択 】

撮影時のカメラ設定は人それぞれですし、使用するカメラやレンズなど機材選択の他にISO 感度、絞り、シャッター速度、ホワイトバランス、撮影内容や状況、好みや意図によっても変わるかと思います。すべての要素が必要不可欠な要素ですし、それらが掛け合わさって生まれてくる仕上がりにも影響します。ベテランの方々が多いので今さらなのですが「絞り値」の選択について振り返ってみたいと思います。ポートレート撮影会ということもあって70-200mm ズームレンズや単焦点の85mm や135mm 大口径レンズで絞り開放値で撮影をされる方が多いです。それは王道の撮影法の一つとして良いのですが人と違う写真を目指すのであれば少し絞っての撮影などされては如何でしょうか？大口径レンズでの開放絞りで人物だけを際立たせ他をボカしたい気持ちはわかりますが、そればかりですと何処で撮っても関係なくなりその場所ならではの特徴や良さを生かせないのです。開放はもちろんOKですが同時に少し絞ったカットも撮ってみることも楽しさや表現の領域が広がるかと思いますよ☆

HARUKI